



The Supporters Times



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

議員立法で真の改革を 対案を提出！



本会議場で対案の提案理由説明

4月8日の本会議で、政府が提出した独立行政法人通則法の改正案に対して、自民・公明・みんなの党で対案を提出しました。初の3党共同提案です。

独立行政法人制度は、橋本行革の一環として、中央省庁から現業・サービス部門を切り離す目的で始められました。しかし現状は、天下りの温床となるなど、問題が発生しているのも事実です。ガバナンスの強化や役職員の再就職規制、保有資産の見直しなど、包括的な独立行政法人改革を一体的に行うことが不可欠だと考えます。

より効率的・効果的な独立行政法人制度を実現すべく、自民党は平成20年の通常国会に、評価機能の一元化や業務管理体制の強化などを盛り込んだ、独立行政法人改革のための通則法改正案を提出していました。

しかし、当時野党であった民主党は、独法改革の必要性を主張していたにもかかわらず、法案の審査に入ることを拒否するという、言行不一致で無責任な対応に終始し、法案は昨年の衆議院解散により審議未了廃案となってしまいました。

政府は4月23日から独立行政法人を対象に事業仕分け第2弾を開始しました。しかし対象となったのは、104独法のうち半数以下の47独法で、選定基準も不明確です。抜本的に見直すというのなら、104しかないのですから、全部仕分けるのが筋ではないでしょうか。また労組との結びつきも強く、国の機関に戻る可能性が非常に大きいと思われる。行政のスリム化を目指して独法にしたのに再び国に戻すとなれば、改革の逆行であり、行政の肥大化を招くものです。そこで私たちは、天下りのあっせんを罰則付きで禁止するなど、政府案よりも一層内容を強化した通則法改正案を提出しました。詳細は次頁をご覧ください。

鳩山総理の普天間問題に象徴されるように、アドバルーンを打ち上げて国民の耳目を引くことは得意な一方、結果は何一つ示されない、無責任な政治が続いております。このような政治に、ピリオドを打つ覚悟で取り組んでまいります。

衆議院議員

秋葉賢也

Think Globally, Act Locally!



党内の総務会で、執行部に対して説明

責任野党として、対案で勝負！

「ただ単に政府・民主党を批判するだけでなく、常に対案を呈示して、深い議論を行うべきだ」と主張して、早7ヶ月。ついに対案提出が実現しました！

4月6日には公務員制度改革関連法案、8日には独立行政法人通則法の改正案、20日には低炭素社会づくり推進基本法案が本会議に提出されました。

県議時代から議員立法に力を注いできましたが、国会議員になってからも数々の議員立法に関わってきました。今回は自らが提出者となって議論のとりまとめを主導しました。

政府の改革の問題はここだ！

- ☆政府提出の改正案の内容は不要財産の国庫返納だけ
- ☆独法改革の基本だった「整理合理化計画」を政府は凍結している！

対案の目玉はここだ！

- ☆評価委員会の評価の対象に「保有資産の状況」を追加
- ☆非特定独法の「天下りのあっせん禁止違反」に罰則（20万円以下の罰金）を新設
- その他の相違点は、下の比較表をご覧ください。

大々的にPRして実施した「独法役員の公募」も、我々が平成20年に提出した法案に含まれていました。効率化を進めていた計画を中断し、不要財産の国庫返納だけを取り上げるのは、放漫財政の帳尻を合わせる「つまみ食い」ではないでしょうか？

政府案では、独法の将来像が全く見えてきません。

どちらが改革にふさわしい法案か、判断するのは皆さまです！



衆議院事務総長に法案を提出

議員立法にかけた1ヶ月



枝野大臣は「独立行政法人通則法の廃止がゴール」と述べており、独法を大幅に国に戻すことも考えられます。しかし、もともと国がやる必要はない事業を切り離すというのが独法の始まりであり、独法の非公務員化も進めてきました。

安易に国の機関に戻すこと、独法を廃止することが望ましいとは思えません。国に戻すとなれば、公務員の人件費2割削減という民主党の公約とも矛盾します。

本会議後、記者会見

	政府案	野党3党案	効果
独法不要財産の国庫納付	○	○	財政貢献の促進
一元的な評価機関の設置	×	○	評価の客観性・厳格性の向上
独法役員人事への内閣承認	×	○	適材適所の人事の徹底
独法の監事の権限強化	×	○	独法の業務管理体制を強化
非特定独法役員による天下りの再就職あっせんの禁止	×	○	独法とファミリー企業等の関係の透明化
非特定独法職員の地位を利用した再就職の禁止	×	○	独法とファミリー企業等の関係の透明化



総務委員会でも提案理由説明

総務委員会では2日間にわたって、審議が繰り広げられ、答弁にも立たせていただきました。我々も政府も、独法をより透明化しなくてはならない、という問題意識は共有しているのに、政府は「事業仕分けをするのだから、今回の法案では保有財産の見直しのみ」「通則法の廃止がゴールだ」の一点張り。透明化・効率化を目指しているのに、独法の整理合理化計画を凍結し、中途半端な法案を提出する姿勢は理解に苦しみます。

採決に先立ち、与党の議員とも折衝を重ねましたが、残念ながら野党案は否決され、政府・与党案が可決されてしまいました。それでも、今回の対案提出は自民党にとっても、自身にとっても、大きな一歩になったと感じています。

政治主導法案、地域主権法案、郵政改革法案などでも、常に対案を呈示しながら、本気の姿をお伝えしてまいります！

今後も更に、議員立法で対案を！



河北新報（2010年4月9日 朝刊）

記者手帳

対案路線で与党と勝負

○…独立行政法人の改革に向けた通則法改正案をめぐり、自民党の秋葉賢也衆院議員（比例東北）が8日、自民党案の提出者として衆院本会議の壇上に立った。提案理由説明で「政府案には将来像が見えず、

表面的な見直しにすぎない」と強調した。

対案路線の一環で、国家公務員法の改正案に続く第2弾。独立行政法人が持つ不要財産の国庫納付に加え、評価機関の一元化、天下り規制などを盛り込んだ。「議員立法を通じ、改革の問題意識を与党に問う」と力を込めた。

激甚災害に、ようやく指定

2月28日のチリ大地震で、宮城県の水産業は42億円以上の大幅な被害を受けました。一刻も早く「激甚災害指定」をして被災者の救済に取り組むべきだと、委員会質疑等で追及してまいりましたが、4月20日の閣議でようやく指定されることが決まりました！ただ、運用の面で、現場のニーズとは必ずしも合っていないところもあるそうです。現場の声をうかがいながら、より被災者の視点になった運用を求めています！

健康保険料率、大幅アップ！ 強行採決の民主党

民主党は、サラリーマンの給料が激減しているこの時期に、健康保険料率を一気に1%以上も引き上げる法案を、衆議院で強行採決しました。「生活が第一」と言っていた姿はどこへ…？

☆保険料の値上げはバラマキ政策のツケだ！！

民主党は「無駄の排除と予算の組替え」で、バラマキ政策の財源を確保すると言っていました。しかしどんなに事業仕分けをしても、財源を捻出することはできませんでした。そのしわ寄せは、いろいろな政策に出てきているのです。

子ども手当の5.4兆円もの予算があれば、今回の保険料率の引上げは必要ありません。すべては、医療制度改革で明確なビジョンを持たない鳩山内閣が、その場しのぎのつじつま合わせでごまかした結果です。

☆給料が激減する中で、保険料率アップに反対！！

【理由1】

今回の制度改正は、後期高齢者支援金の分担ルールを政府の都合で勝手に変更し、政府が負うべき600億円もの負担の肩代わりを、大幅な財政赤字に苦しむ健保組合などに押し付けるものです。責任回避としか思えません。

【理由2】

中小企業のサラリーマンの給料が大幅に減少している中で、協会けんぽの保険料率を8.3%から9.4%へと1.1%も引上げ、サラリーマン1人当たり平均で年額2万1千円、事業主も同額の負担増となります。先般の雇用保険料の5割アップなどもあり、平成22年度の平均的なサラリーマンの社会保険料負担は4万円も増加することになります。なお、協会けんぽの保険料率の上限は現在の10%から12%まで引き上げられることになっており、平成24年度の保険料率は10%超となることが確実視されています。

態度豹変の民主党には任せていられません！私たちは、財源問題からも逃げずに、医療を含めた社会保証制度改革について、党派を超えて早急に議論すべきだと考えます！



ふるさと対話集会 in 仙台

4月12日、小池百合子代議士と田村憲久代議士をお迎えして「ふるさと対話集会」が開催されました。若林区は荒町商店街、宮城野区は女性限定、泉区は松森地区で行いました。

荒町商店街では、子ども手当については、しっかりとした目的を持って子どものために使うべきとの声や、所得制限を設けて一部の財源を保育所の増設や整備にまわすべきなどの声、商店街の問題であるシャッター通りの改善やどうすればもっと商店街を盛り上げることができるかなど、さまざまな意見をいただきました。

「あなたの生の声を、国会へ。」をスローガンに、少しでもよい環境を作り出せるよう今後も取り組んでまいります！



宮城野区の集会にて→

沖縄でも「なまごえ☆プロジェクト」!

秋葉代議士も、「ふるさと対話集会」で全国各地を飛び回っています。4月19日には、沖縄南部3カ所で開催された集会に参加しました。

沖縄では目下、普天間問題が最大の関心事となっています。住民の皆さまからは、鳩山総理の無責任な言動や現場・沖縄の将来を顧みない姿勢に疑問の声が多く出されました。

総理が公言した「5月末までの最終決着」は難しい状況です。日本の外交防衛を考えると同時に、沖縄の振興にも目を向けた解決策を、一刻も早く呈示していく必要を肌で感じる機会となりました。



←沖縄にて、ピーマン農家の方々と懇談

国政報告会のお知らせ

通常国会も終盤にさしかかり、参議院選を睨んで与野党の攻防が続いています。国会の動きを、秋葉代議士が報告します。皆さま、お誘い合わせの上、是非ご参加ください!

泉区

日時 5月21日(金) 19時～
場所 南光台市民センター

若林区

日時 5月28日(金) 19時～
場所 荒町コミュニティーセンター

宮城野区

日時 5月29日(土) 19時～
場所 中野栄コミュニティーセンター

秋葉賢也が行く☆出張座談会、随時実施中!

みなさまの「ちょっとした集まり」に秋葉代議士が足を運びます! どしどしお声をかけてください! 詳しくは仙台事務所(022-375-4477)までお問い合わせください☆

BREAK TIME

「坊ちゃん」は角田高校の先生だった!?

夏目漱石の代表作『坊ちゃん』、無鉄砲で江戸っ子気質の主人公が、実は角田高校の教師がモデルだったという説が、話題になっています!

この小説のベースは、明治36年3月に宮城県立第四中学(現、角田高校)で起こった卒業試験問題漏洩事件だといわれています。そこで当時、四中で英語教師をしていた、漱石の教え子「堀川三四郎」氏がモデルになったというわけです。

角田高校OBの間では有名だったこの話。代議士も「坊ちゃん」に負けない、熱い気持ちで頑張ります!



衆議院TVをご存知ですか?

本会議、委員会の審議の様子は、すべてインターネット上で公開されています。

<http://www.shugiintv.go.jp/> にアクセスして、日付やキーワードを入力するだけ! 例えば、今回ご紹介した、秋葉代議士の本会議での提案理由説明は4月8日です。皆さま、是非ご覧ください!

～ kenya's PLOFILE ～



- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、47才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- (財)松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 総務大臣政務官や自由民主党副幹事長などを経て、現在、衆議院議員三期目。
- 決算行政監視委員会理事、総務委員会委員、災害対策特別委員会委員、党厚生労働部会長代理、新聞出版局次長、情報調査局次長を務める。
- 著書:「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味:野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

秋葉賢也事務所

仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057

購読料 年額6,000円
編集 朝アクトジャパン